群馬県神社庁

日本人は昔から
神さまとともに
生活をして来ています

神さまに手を合わせ、幸せな生活が送れますように、お祈りいたしましょう。

■年末年始に神社から新しい神札（おふだ）を受け、神棚にまつりましょう。

三社づくり



左 中 右と並べて

一社づくり



前 中 後と重ねて

祓戸大神・年中祓



玄関または神棚

荒神様



三本一組で

天照皇大神	日本人の先祖神（おやがみ）であり、日本の総鎮守・伊勢神宮の神様
御歳皇大神	歳神（としがみ）様として、新しい一年をお守りする神様
祓戸大神	禍事（まがごと）穢（けがれ）を祓い、一年中家内安全の神様
荒神様	風 水 火をお守りする災難除け、竈（かまど）等の生活の神様
氏神大神	その地域の神社の神様

神棚は
目線より
高い場所に
南向きか東向きに
まつって
ください。

※ご不幸があった場合は忌中（きちゅう）として、故人を偲び神棚に半紙をさげ、おまつりを遠慮します。
忌の期間は、最大日数で49日または50日（同居している家族）で、その後はもとの生活にもどり、神棚も通常のおまつりをしてください。なお、お葬式を出した家でなければ、通常通りのおまつりをしていてかまいません。

■氏神神社（産土さま）の春祭・夏祭や秋祭などに参加して、地域の絆を強めましょう。

参拝のしかた

「二拝 二拍手 一拝」

神前に進み、姿勢を正し、お賽銭を入れます。鈴がある神社の場合は鈴を鳴らす。
2回深く頭をさげ（**二拝**）、胸の前で両手を合わせ、感謝や祈りをささげ、
2回手を打ちます（**二拍手**）、最後に、もう一度深く頭をさげます。（**一拝**）

